

DENVER INTERNATIONAL AIRPORT

報道資料

2010年12月1日

6,600人以上の雇用創出を見込むターミナル再開発計画を発表



デンバー国際空港(DEN)は本年7月に6,600人以上の雇用創出が見込まれる2016年竣工予定の空港南ターミナル再開発計画の内容を発表しました。

まずは現在稼働中のジェプセン・ターミナルに直結する客室数500規模のホテルや会議施設、空港とダウンタウンを結ぶ駅、シンボルとなる鉄橋やショッピングセンターの建設などが盛り込まれており、総工費は6億5000万ドルとなっています。更に2億5000万ドルを投じた駐車場の増設、ジェプセン・ターミナル内の改装などを含む第二段階は総工費9億ドルのプロジェクトとなります。なお、費用は空港歳入から返済される一般空港歳入債(General Airport Revenue Bonds-GARB)の融資により賄われるため、税金や市の一般基金は使用されません。

尚、シンボルとなる鉄橋は2013年前半、ターミナル駅はその2年後に完成の予定で、高速鉄道RTDは2016年に空港とダウンタウンのユニオン駅の運行を開始する予定です。2012年の建設ピーク時には5,400以上の雇用創出が見込まれています。この建設費用は、RTDならびにRTDのシステムを運営するFluor社、Macquarie社との官民パートナーシップによる融資を受けています。

デンバー国際空港について

デンバー国際空港は、世界で10番目、米国で5番目に利用者の多い空港です。2009年度の利用者は5000万人にのぼり、世界最大の航空市場である米国でもっとも利用者の多いハブ空港の1つです。デンバー国際空港は、年間220億ドルの経済効果をもたらすコロラド州経済の大きな原動力となっています。

詳細は、www.flydenver.comをご覧ください。